

## 庁議の概要

開催日 平成26年9月16日(火)

### ◎項目

#### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

### ◎内容

#### 1 各部局等の今週の動きについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の今週の動きに関する資料を配付の上、各部局による概要説明及び協議が行われた。

<主な協議の概要>

#### ○日本一の健康長寿県構想の推進について

(知事)

先日行ったように、日本一の健康長寿県構想の一つ一つのテーマについて協議を行っていく。テーマを特定の何かに絞ろうとする必要はなく、総ざらいすることになると思う。ちょうどいい時期だと思うので、1度ここでおさらいをしておいて、来年度以降の取り組みについて、強化していければと思う。手間のかかることでもあるので、時間をかけてやりたい。

#### ○「農地中間管理機構」に関する取り組みについて

(農業振興部)

6月30日の農地を借りたい人の第1回目の締め切りでは、161ヘクタールを借りたいという希望があり、現在マッチングをしているが、苦戦している状況である。一方、10月下旬までの第2回目の募集では、60ヘクタール程度の希望が上がってきそうで、これについては少し事前の調整などをしたものが出てくるということもあって、ある程度マッチングが整うだろうということである。第1回目に希望があった分については白地で募集をしてマッチングしようとしているため、貸し手がないという状況である。

てこ入れについて議論する中で、親から財産を引き継いでその対応に苦慮しているような方も結構いるだろうということで、まず庁内を対象として、先週庁内メールで事業内容や問い合わせに関する周知を行った。他にも狙い打ちで働きかけていくなどいろいろなことをやっていく必要がある。

(知事)

第2回目の募集分は出てきそうか。

(農業振興部)

1回目はとにかく農地が必要な方は手を挙げてくださいということで募集したけれども、第2回目はいろいろな情報をもとに、こことここだったらマッチングできそうだなというようなことで整ったものが出てくるような形で、60ヘクタール程度が上がってきそ

うであり、大体整いそうである。

第1回目の募集では1件のマッチングが整ったけれども、まだまだであり、ネジを巻いて取り組んでいきたい。

(知事)

独特のノウハウみたいなところは分かってきたのか。

(農業振興部)

ハウスを建てるとなると10年、20年とかいった形で貸していく必要があるが、今の時点でそこまで約束するのは気になるとか、構造物を建てられて、貸した人が途中でなくなった場合の後の対応はどうなるのかなど様々な反応が出てきている。場合によっては、そういうところを政策提言などに反映させていくといったことと合わせて、今までは広く全般的にPRするような形であったけれども、個別に特定の人を念頭に周辺を固めていくような取り組みをやっていこうということで今確認をしている。

(知事)

課題に対応するような取り組みが必要になってくるかもしれない。ひとさじ、ふたさじ加えるようなものが。

(農業振興部)

体制についても今高知に5人おり、各地域に出ていくような形となっているが、現地にいて、日頃から農協などと協力しながらやっていく体制が必要ではないかとかいった議論もしている。

(知事)

分かった。課題と対応というのを整理してまた教えてほしい。